

地域	近畿(和歌山県)	事業分野	環境	認定日	平成18年7月18日
----	----------	------	----	-----	------------

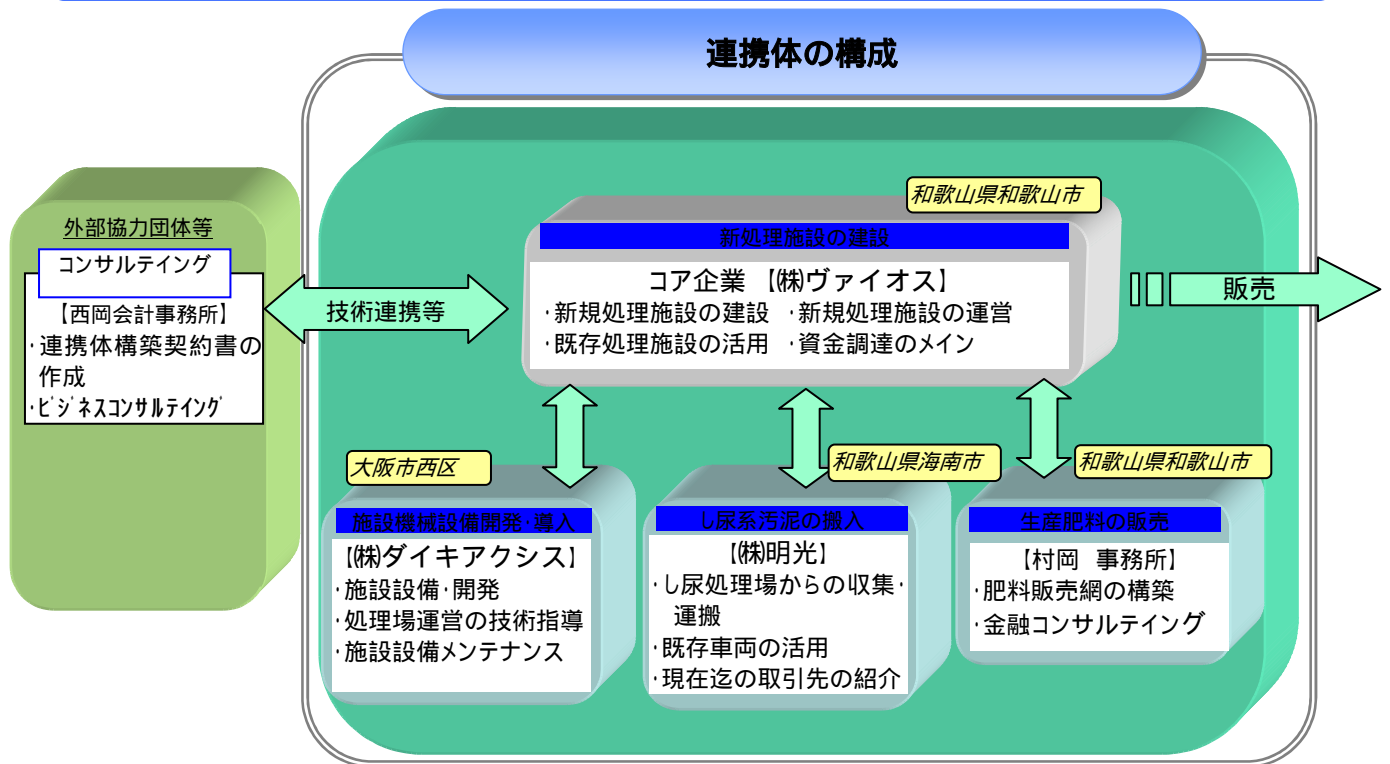
テーマ名: 新たな汚泥処理技術による(し尿系)廃棄物のリサイクル及び肥料化事業

事業計画の概要:

本連携体が扱う(し尿系)廃棄物の処理プラントは、省スペースであると同時にランニングコストも低く抑えることをモットーに、処理槽内にて運行可能な中空糸形状の「新膜」を導入し、同時に「膜」にありがちな破損のおそれや7年間交換不要の「新膜」によって交換コストをほぼなくし、また高品質の肥料原料となる汚泥の生成を容易に達成できる。
 また、焼却によるダイオキシンや二酸化炭素を排出せず、京都議定書に基づくCO2削減運動を鑑み、CO2を出さない生物発酵によって肥料原料化(無害化)しリサイクルできる。
 焼却を伴わないことから、重油等の燃料費が不要で処理費用も削減され、無害化した汚泥は、付加価値の高い「有機質肥料」として再生する。

コア企業: (株)ヴァイオス
 連携企業等: (株)ダイキアックス、(株)明光、村岡 事務所

連携体の構成



連携の特徴

平成19年2月からの海洋投棄全面禁止を受け、(株)明光のほぼ業務のすべてが停止するため陸上処理可能なコア企業に処理を委託。またコア企業は、し尿系廃棄物について清掃・収集の業務の受注実績がなく、また車両の保有台数も少ないため、(株)明光に委託するのが効率的など、相互補完関係にある。

新事業

現在、海洋投棄されているし尿系廃棄物を、本連携体が建設する陸上処理施設で処理。
 無害化された肥料原料は約99%リサイクルされ、肥料販売の新事業部門を通じ、販売。

市場性

- <し尿系廃棄物>
地方公共団体の運営するし尿処理場
- <肥料>
農家・物流業者

支援予定メニュー

補助金、 新連携融資、 信用保証の特例、 設備投資減税